

みんなのひろば

Minna No Hiroba

まちのあかりを
考えて欲しい



制作した Snow Smile のイルミネーション

「街を照らす灯りを増やして欲しい」と語るのは「まちのあかりデザインコンテストあったらいいな、こんなまちのあかり」で最優秀賞を受賞した、徳山高専の木村未希さん・三戸翔子さん・岡本千春さんの3人です。

周南まちデザインプロジェクトが開催したこのコンテストでは、PH^{ピーエッチ}通りを飾る、発光ダイオード(LED)を用いた新しいイルミネーションアイデアを募集して、最優秀賞の作品を、実際に制作しました。

3人は、お互いの考えるイメージが近かったこともあり、3日間の短い期間でスムーズにデザインをまとめることができました。

彼女たちが考えたのは「Snow Smile」という作品で、プレゼントのオブジェに触るとイルミネーションが光り出す仕組みが特徴になっています。PH通り全体を明るく飾り、大人も子どもも笑顔になるようにと願いが込められています。

「また、この作品をブログに書いたと



徳山高専土木建築工学科5年

木村未希さん

三戸翔子さん

岡本千春さん

ころ、県外の特別支援学校から、視覚障害のある生徒にも楽しめる物として生かしたいので仕組みを教えて欲しいと、連絡がきました」と受賞に合わせてうれしかった出来事を話す三戸さん。

作成したイルミネーションは、同校機械電気工学科の学生が協力し、実際に街路樹1本分を彩りました。

「このコンテストをもっと多くの人に知ってもらい、コンテストを定着させて盛り上げ、毎年1本ずつでも増やして欲しいです」と3人は、希望を込めて話していました。